

9月定例会の概要

会期 9月9日～9月29日の21日間

会期中の主な動き

特別委員会の開催

- 半島振興・地方創生対策特別委員会……9月16日
- 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会…9月18日
- 防災・国土強靱化対策特別委員会 ……9月23日

特別委員会の設置

- 決算特別委員会を設置し、委員を選任……9月29日

質問議員 16人

9月16日(水)		9月17日(木)	
岩田 弘彦	多田 純一	藤本 眞利子	中西 徹
浦口 高典	佐藤 武治	秋月 史成	森 礼子
9月18日(金)		9月23日(水)	
中西 峰雄	片桐 章浩	楠本 文郎	長坂 隆司
奥村 規子	山家 敏宏	山田 正彦	山下 直也

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	2件	令和2年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(//)	5件	和歌山県税条例の一部を改正する条例 等	
決算案件(//)	2件	令和元年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	継続審査
人事案件(//)	2件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて	同意
その他案件(//)	8件	令和2年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
請願	2件	大学などの一律学費半額と高等教育機関への支援を求める意見書の提出を求める請願	不採択
		公立学校教員に「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定をせず、少人数学級の実施や教職員の増員など教育環境の改善を求める請願	
意見書	4件	義務標準法の改正による35人以下学級の推進を求める意見書	可決
		半島地域における税制特例措置の延長を求める意見書	
		大規模災害への備えと社会インフラの充実を求める意見書	
		地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書	

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

社会環境変化に対応した取組

問 コロナ禍を受けて、地方に移転を検討する企業や個人にどのように対応していくか。

答 本県にとって企業や人を呼び込む大きなチャンスが到来していると考えます。首都圏からのアクセスの良さ、全国トップクラスのネットワーク環境、全国最高水準の奨励金制度などのビジネス環境に加え、住環境や医療提供体制、教育環境など、和歌山の強みをパッケージにし「職住近接モデル」として提案することで、企業や個人に「和歌山」を選んでもらえるよう、総力を挙げて取り組んでいきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症対策

問 季節性インフルエンザウイルスとの同時流行に備えた予防接種の体制強化と検査体制の整備をどう考えるのか。

答 抗原簡易キット等による検査をこれまで以上に拡充し、PCR検査機器の増設を図ることにより、インフルエンザとの両方の検査が実施可能な医療機関を増やすことで、さらなる検査体制の強化に取り組むとともに、発熱患者がかかりつけ医等に相談を行い、検査可能な医療機関を紹介できる体制の整備に取り組んでいます。

PCR検査の対象者の定義

問 保健所でのPCR検査対象者をどのように定義しているのか。

答 保健所では、県民から相談があった場合、発熱等の症状、肺炎の有無、県外への滞在歴、勤務歴等を聴き取り、医療や介護従事者など集団感染の可能性を考慮するなど、総合的に判断して、検査を実施しています。かかりつけ医が検査を必要と判断した場合も保健所と協議し、同様の対応を行っています。

今後のPCR検査の対象者の拡大

問 クラスターが発生している地域等における医療・介護施設等の関係者を、PCR検査の対象範囲に含めるべきではないか。

答 PCR検査は、感染者を早期に発見し、早期に入院させて隔離するための検査であり、希望者全てに検査を実施することは不可能です。これまで取り組んできた和歌山方式を継

犬・猫の殺処分ゼロの実現

問 令和3年度末までに犬・猫の殺処分ゼロの実現に向けてどう取り組むのか。

答 殺処分数を減らすためには、地域猫対策により保健所に持ち込まれる猫の数を減らすことに加え、やむなく引き取らざるを得なかった犬・猫を新たな飼い主に譲渡していくことが重要です。そのため、譲渡ボランティアの更なる登録と活動への支援を行っていきます。さらに、セミナーを各地で開催し、地域猫対策の一層の浸透を図るとともに、飼い方講習会やイベント等でペットの適正飼養と終生飼養の普及を図っていきます。

地域猫対策とは

飼い猫以外の猫に対し、継続的に又は反復して給餌、給水及び排せつ物の適正な処理を行うとともに、当該猫が生殖をすることができず、場合によっては、生殖を不能にする手術を行うことをいいます。

